

## レスポンシブル・ケア

### レスポンシブル・ケア れすぽんしぶる・けあ

Responsible Care、RC 責任ある配慮ともいわれる。レスポンシブル・ケアとは、化学物質を製造、取り扱う事業者が、自己決定・自己責任の原則に基づき、化学物質の開発から製造、流通、使用、最終消費を経て廃棄にいたる全ライフサイクルにわたって、環境・安全を確保することを経営方針において公約し、安全・健康・環境面の対策を実行し、改善をはかっていく自主管理活動をいう。この活動によって社会からの信頼性向上とコミュニケーション増進が図られる。1985年にカナダ化学品生産者協議会が化学物質の自主管理などを内容とするレスポンシブル・ケアを提唱したのが始まりである。レスポンシブル・ケアは、1992年の国連環境開発会議（UNCED）で採択された「アジェンダ21」（行動計画）のひとつとして奨励されている。日本では、日本化学工業協会が日本レスポンシブル・ケア協議会を1995年に設立して、その活動を推進している。

---

<登録年月>  
2005年11月

---

---